



2017年7月 第15巻第7号

かく語りき—聖人の言葉

「信者の強さはどこにあるのか。彼は神の子供だから、神を求めて流す涙こそ彼の最強の武器だ。」

(シュリー・ラーマクリシュナ)

「これまでに述べてきた永久不滅の真理を歩み、私を究極至上の目的とみなし、私を心から信じ敬愛する人、こうした人たちを私はこの上なく愛するのだ」

(シュリー・クリシュナ、抜粋：第12章20節『シュリーマッド・バガヴァッド・ギーター』日本ヴェーダーンタ協会、2006年)

今月の目次

- ・かく語りき—聖人の言葉
- ・2017年8～9月の予定
- ・スワームイー・ヴィヴェーカーナンダ 第154回生誕記念祝賀会

講演 「統合的ヨーガへの気付き」
(要約)

日本ヨーガ・ニケタン代表、日本
ヨーガ療法学会理事長 木村慧心氏

- ・名古屋サットサンガ
- ・多治見サットサンガ
- ・スワームイー・メーダサーナンダジー、
米国、ブラジル、九州を歴訪
- ・忘れられない物語
- ・今月の思想

今月の予定

2017年8～9月の予定

・8～9月の生誕日

- スワームイー・ニランジャナーナンダ
8月7日(月)
- シュリー・クリシュナ・ジャンマシュ
タミ 8月14日(月)
- スワームイー・アドヴァイターナンダ
8月20日(水)
- スワームイー・アベダーナンダ
9月14日(木)
- スワームイー・アカンダーナンダ
9月20日(水)

・8～9月の協会の行事

8月のスケジュール

8月5日（土） 10:00～12:00

東京・インド大使館例会

講義：『バガヴァッド・ギーター』（無料）

場所：インド大使館 03-3262-2391

お申込み・お問合せ
<http://www.gita-embassy.com/>お問合せ/

※入館・受講するには、大使館発行のIDカードが必要です。詳細は協会ウェブサイトのページ左側にあるメニューから「インド大使館 ID」をご覧ください。

※免許証など写真つきの身分証を必ずお持ちください。

※後期IDカード受け取りの日です。

8月6日（日）

サットサンガ in 浜松

詳細は、協会ウェブサイトのページ左側にあるメニューから「活動」―「招待による各地の講話」をご覧ください。

8月毎日曜日 14:00～15:30

ハタ・ヨーガ・クラス

場所：逗子本部別館

お問合せ：羽成淳（はなり すなお）

080-6702-2308

体験レッスンもできます。

予定は変更されることもありますので、

日程は直接お問合せください。

専用ウェブサイトをご覧ください。

<http://zushi-hatayoga.jimdo.com/>

8月8日（火） 14:00～16:30

※予定は変更されることもあります。

火曜勉強会（賛歌と『ラーマクリシュナの福音』の勉強会）

場所：逗子本部本館

毎月第2火曜に開催の予定

お申込み・お問合せ
benkyo.nvk@gmail.com

8月19日（土） 10:00～12:00

『ウパニシャド』スタディークラス

講義：ウパニシャド（無料）

場所：インド大使館 03-3262-2391

お申込み・お問合せ
<http://www.gita-embassy.com/>お問合せ/

※入館・受講するには、大使館発行のIDカードが必要です。詳細は協会ウェブサイトのページ左側にあるメニューから「インド大使館 ID」をご覧ください。

※免許証など写真つきの身分証を必ずお持ちください。

※後期IDカードを申請した方は、大使館でカードを受け取れます。受け取る方法は、上述のウェブサイトのページをご覧ください。

8月20日（日） 10:30～16:30

クリシュナ生誕祭

場所：逗子本部本館

聖句詠唱・聖典輪読・講話・賛歌朗誦
など

午後は、マハーラージのアメリカ旅行
(6～7月に訪問)を、プロジェクター
を使い写真と一緒に発表します。

8月26日(土)～27日(日)

サットサンガ in 今治

お問合せ：塩路 090-9542-1477

8月のホームレス・ナーラーヤナへの奉
仕活動はお休みです

現地でのお食事配布など。

お問合せ：佐藤 090-6544-9304

9月のスケジュール

※スワミー・メーダサーナンダジー
(マハーラージ)は、9月13日～10月
14日に訪印するため、約1カ月間協会
を不在にします。

9月2日(土) 10:00～12:00

東京・インド大使館例会

講義：『バガヴァッド・ギーター』(無
料)

場所：インド大使館 03-3262-2391

お申込み・お問合せ
<http://www.gita-embassy.com/>お問合せ/
せ/

※入館・受講するには、大使館発行の
IDカードが必要です。詳細は協会ウェブ

サイトのページ左側にあるメニュー
から「インド大使館 ID」をご覧ください。

※免許証など写真つきの身分証を必ず
お持ちください。

※後期IDカードを申請した方は、大使
館でカードを受け取れます。受け取る
方法は、上述のウェブサイトのページ
をご覧ください。

9月 毎日曜日 14:00～15:30

ハタ・ヨーガ・クラス

場所：逗子本部別館

お問合せ：羽成淳 (はなり すなお)

080-6702-2308

体験レッスンもできます。

予定は変更されることもありますので、
日程は直接お問合せください。

専用ウェブサイトをご覧ください。

<http://zushi-hatayoga.jimdo.com/>

9月5日(火) 14:00～16:30

※予定は変更されることもあります。

火曜勉強会(賛歌と『ラーマクリシュ
ナの福音』の勉強会)

場所：逗子本部本館

お申込み・お問合せ
benkyo.nvk@gmail.com

9月9日(土) 10:00～12:00

『ウパニシャド』スタディークラス

講義：ウパニシャド

※場所：新橋レンガ通りホール

今回の開催場所は、インド大使館では

ありません。アクセスや詳細は、協会ウェブサイトのページ左側にあるメニューから「テキストギャラリー」をご覧ください。

※事前テキストを、協会ウェブサイトの「テキストギャラリー」－「ウパニシャド」からダウンロードして（必要に応じて印刷）、当日お持ちください。

9月22日（金）

ナラ・ナーラーヤナ 現地でのお食事配布など。

お問い合わせ：佐藤 090-6544-9304

9月23日（土・祝）～24（日）

ナマステ・インディア（東京・代々木公園）

日本ヴェーダーンタ協会は「ガンガーCDショップ」という店名で出店し、書籍、CD 他、数々の品物を特別価格で出品の予定です。

参考

<http://www.indofestival.com/index.html>

スワミー・ヴィヴェーカーナンダ第154回生誕記念祝賀会

2017年5月28日（日）

講演 「統合的ヨーガへの気付き」

日本ヨーガ・ニケタン代表、日本ヨーガ療法学会理事長

木村 慧心氏

（編集者注：以下は、講演の録音を基

に福田恵さんが要約した原稿を編集したものです。）



私はヨーガを行じさせていただいて約45年になります。インドをこのように遠く離れた所でヨーガを行じさせていただけるのも、1893年にスワミー・ヴィヴェーカーナンダ大師がこの国を通過してアメリカへ行ったことが契機になっており、非常にありがたく思っております。

今から43年程前、20代の後半に初めてインドへ行き、当時リシケーシュにいらっしゃった、私の生涯の師匠になるスワミ・ヨーゲシュワラナンダ大師にお会いしました。その後、私は大師に付いて、チベットの地を含めヒマラ

ヤ周辺の各所で修行してきました。大師は 30 年ほど前にお亡くなりになり、私の兄弟子たちも次々に亡くなりましたので、今年からは私がリシケーシュへ行って、大師に替わりラージャ・ヨーガを教えることになっております。

現在、日本ヨーガ・ニケタンでは、インドのスワミ・ヴィヴェーカーナンダ・ヨーガ研究財団と協力しながらヨーガ・セラピー（ヨーガ療法）を指導しております。

3 年前に日本の厚生労働省の支援で、ヨーガ教室の参加者について全国調査を行いました。すると、確実に疾患のある人が 6 割以上いること、病院や診療所にも同時に通っている人が 43%いることが分かりました。対症療法に対して原因療法という言葉があります。心理的ストレスで胃潰瘍やリュウマチになった場合、心まで治さないと原因療法になりません。そこで出てくるのが「統合的なヨーガ」、肉体だけではなく心まで治すということです。

この統合的なヨーガには、アーサナ（坐法）、プラナーヤマ（呼吸法）、瞑想の 3 つがあります。アーサナ同様、瞑想には数千種類あります。また、瞑想は非常に科学的で、一人ひとりに瞑想のテーマを与えることができます。西洋医学では瞑想をどうやって指導するか分からないと思いますが、私共に

は瞑想の仕方、心の治し方について、昔から行者らがやってきた方法を指導することができます。

MD アンダーソン・キャンサー・センター（MD Anderson Cancer Center。米国テキサス州）では、ヨーガを治療に取り入れる取り組みをやっています。私共も、同センターの統合医療部長（Director of the Integrative Medicine Program）ロレンゾ・コーエン（Lorenzo Cohen）博士を学会にお招きしたりしています。また、ボストンのハーバード大学医学部でも、先日、ヨーガ・セラピーに関する国際会議が開催され、私共の学会からも参加しました。

インド中央政府のアーユルヴェーダやヨーガなどに関する省（AYUSH 省）は、2015 年にヨーガ指導者の国家資格試験を開始しました。海外の外国人もそれを受けられますから、私も受けようと決めています。また昨年、同省はヨーガの賞を設けることも決定しました。

千葉県国府台病院（国立国際医療研究センター）の精神科では、十数年前から摂食障害の人にヨーガを指導しております。また、宮崎のシーガイアで開催した学会では、米国ボストンからヴァン・デル・コーク（Bessel van der Kolk）医師をお招きして、トラウマに

対するヨーガの活用法についてお話しいただきました。

日本全国でヨーガ・セラピスト（療法士）は1500名程います。私共は、国内外の様々な地域でヨーガの指導を行っており、国内では東日本大震災や熊本地震の被災地、国外ではネパール、チェルノブイリなどで活動しています。また、日本の刑務所でボランティアとしてヨーガを指導したり、タイの薬物依存対策として現地の医療関係者にヨーガを教えに行ったりもしています。

ヴィヴェーカーナンダ大師のヨーガは今、統合的ヨーガとして、このような広い分野で用いられています。

名古屋サットサンガ

6月10日(土)午前10時～午後4時、マハーラージは名古屋市の得源寺で開催されたサットサンガに参加しました。主催は愛岐ヨーガ療法士会で、参加者は約20名でした。午前は聖句詠唱と瞑想を行い、午後は「瞑想とバクティ・ヨーガ」をテーマに講話を行いました。事務局の前野さんからいただいた講話についてのレポートを要約して、以下にご紹介します。

体の健康を保つためにヨーガのアーサナ（坐法）を毎日長時間行っている人は多いが、心の健康を保つのに大切

な瞑想を1日10分以上行っている人は少ない。毎日、少なくとも10～15分の瞑想が心の健康のために必要である。瞑想のポイントの1つ目は、内省をして自分の心を観察すること。2つ目は、瞑想の対象として神様、真理など永遠で変化しないものに意識を向けて集中すること。3つ目は、額の内側に集中すること。朝、静かな時間に瞑想するのが最も良く、また、少なくとも週に1回は30～40分の瞑想をすること。



多治見サットサンガ

6月11日(日)、マハーラージは岐阜県多治見市の虎溪山保寿院でのサットサンガで講話を行いました。(株)コンパスが主催し第11回目を迎えた今回のサットサンガは、近藤彩香さんがリーダーとなって開催されました。以下は、当日の様子についてのレポートの要約です。

早朝の瞑想には34名が参加、瞑想の前にマハーラージは日本の座禅とイン

ドの繋がりを話されました。朝早くからの瞑想は、心が静められて内側への気づきがもたらされました。



朝食後、「人間性を高め、幸せになる方法とは」をテーマに講話会が行われました。どの様に幸せになるのかについて、参加者1人1人が考えを述べ、マハーラージが丁寧に返答して下さる形で講話が進められました。

自分が正しい生活を望んでも、仕事の目的がまわりと違っているために影響を大きく受け霊性を保つことが難しくなっており、さらに前世の影響もある、とのお話でした。意志の力で心に命令しコントロールすることが大切で、これにより正しい生活へと変わります。マハーラージは「毎日の生活の中で、正しい生活の実践で意志の力も強くなる」と言われました。参加者は29名でした。

参加者が質問を受けて考えることでテーマをととても身近に感じられた講演会でした。前日からの事前の準備などお手伝いに心より感謝いたします。



スワミー・メーダサーナンダジー、 米国、ブラジル、九州を歴訪

6月19日～7月9日、スワミー・メーダサーナンダジー（マハーラージ）は、米国フロリダ州セントピーターズバーグ、ブラジルのサンパウロとリオデジャネイロ、米国カリフォルニア州のサンフランシスコとバークレー、そして九州を訪問しました。以下は、マハーラージの旅行の記録を要約したものです。

フロリダ州セントピーターズバーグ

6月19日、マハーラージは日本航空（JAL）とアメリカン航空（AA）のコー

ドシェア便に午前 11 時 30 分に搭乗。約 13 時間のフライトの後、テキサス州ダラスに到着。入国審査と保安検査場通過に約 2 時間半かかりました。運良く AA のフロリダ行き乗り継ぎ便も 4 時間遅れたため何とか間に合い、2 時間後、最初の目的地があるフロリダ州タンパに着陸。カナダのオンタリオ州トロントから到着した信者の Goswami 医師 (Dr Goswami) と予定通り合流しました。Goswami 医師は、5 時間もマハーラージの到着を待ちました。ヴェーダーンタ・ソサエティ・オブ・セントピーターズバーグ (Vedanta Society of St. Petersburg。以下、「セントピーターズバーグ・センター」) の長スワミー・イシュターナンダジー (Swami Ishtanandaji) と信者 1 人が空港で出迎えてくださり、セントピーターズバーグ・センターに移動・到着。

6 月 20 日、イシュターナンダジーが車で観光に連れて行ってくださり、午後はタンパ湾の近くで戸外の食事を楽しみました。6 月 21 日、再び観光へ。夕方、セントピーターズバーグ・センターで、マハーラージは「日本におけるヴェーダーンタ運動」をテーマに約 1 時間の講話を行いました。参加者は約 30 名でした。その後、米国在住の日本人女性でプロの琴演奏家が約 25 分の演奏を披露。翌 22 日、マハーラージは次の滞在先であるブラジルに行くため、オランダ空港へと向かいました。途

中、イシュターナンダジー、セントピーターズバーグ・センターの近くに住むイギリス人信者とその奥様、Goswami 医師と一緒に、シーフードレストランで昼食を取りました。

ブラジル、サンパウロ

保安検査場で再び長い列に並び、午後、LATAM 航空のフライトに搭乗。10 時間のフライトを経て、6 月 23 日の早朝、サンパウロに到着。スワミー・ニルマラトマーナンダジー (Swami Nirmalatmanandaji) とアシスタントのブラジル人僧侶シャンカール・マハーラージ (Shankar Maharaj) が出迎えてくださいました。ラーマクリシュナ・ヴェーダーンタ・アーシュラマ (Ramakrishna Vedanta Ashrama。以下、「アーシュラマ」) 到着後、数人の信者も加わって皆で朝食を取りました。ここで、このアーシュラマに約 40 年間住んでいる日本人信者のたかさん、やはりこのアーシュラマに住み常駐のスワミーらの食事を作っているご高齢のブラジル人女性、さらに韓国人女性 Sunaam さんとブラジル人のご主人に会いました。この日の午後、マハーラージとシャンカール・マハーラージは信者の運転する車で、近くにある大きな歴史博物館へ。ここにはブラジルの歴史と文化が展示されており、主人のために強制労働を強いられる奴隷達の非人道的な扱いも記録されていました。

6月24日午前、マハーラージとシャンカール・マハーラージは観光名所を数か所訪問。最初は車で移動、その後は地下鉄を使って日本人街へ。日本人街でグリーンココナッツが山のように積んであるのを目にし、地元の人々がココナッツウォーターを好んで飲むことを知りました。また、この地域にある教会と小さな博物館も訪問。夕方、アーシュラマの礼拝室で、マハーラージは約130人を前に「ポジティブな生き方」について講話を行いました。

ブラジル、リオデジャネイロ

6月25日、マハーラージとニルマラトマーナンダジーは、飛行機で約1時間離れたリオデジャネイロに行き、ブラジル人信者に出迎えていただきました。この方のご先祖はポルトガル出身とのこと。セントロ・ラーマクリシュナ・ヴェーダーンタ・リオデジャネイロ (Centro Ramakrishna Vedanta Rio de Janeiro。以下、「リオデジャネイロ・センター」) で、この信者の奥様が昼食を作ってくださいました。夕方、マハーラージは「ポジティブな生き方」について講話を行いました。通訳は Professor Alvato という方で、参加者は約100名。講話の後、夕食をいただきました。

翌6月26日、車で観光。スイスから移住してきたプロのツアーガイド

Lushan さんの案内で、ウルカ・ヒル、さらにケーブルカーを使ってシュガーローフ・マウンテンに。リオデジャネイロ・センターに戻って昼食。その後、マハーラージは少し休憩を取りました。その日の夕拝でマハーラージは賛歌を朗唱。このセンターの信者は皆、音楽好きなようで、信者をリードするのは音楽愛好家の Pedro さん。Pedro さんはインドの歌もたくさんご存知です。下の息子の Ganesha さんは利発な若者で、お兄さんやお母さんと一緒に参加を歌いました。夕拝の後、多数の信者が集まり、マハーラージは「日本におけるヴェーダーンタ運動」をテーマに講話を行いました。この日も通訳は Professor Alvato でした。

翌27日、マハーラージは、コルコバードのキリスト像を見に行きました。キリストは両手を大きく広げて歓迎してくれました。

6月28日の午前は再び観光に出かけ、大西洋に面した浜辺に行きココナッツウォーターを飲みました。この日の夕拝でもマハーラージは賛歌を歌い、その後、約30名の信者と質疑応答を行いました。

6月29日、マハーラージは美しいカトリック教会を見に行きました。次に行ったブラジル銀行文化センター (Centro Cultural Banco do Brasil)

には、観光客だけでなく警察や警備員がたくさんいました。続いて、臨海部にあるミュージアム・オブ・トゥモロー (Museum of Tomorrow) に行きました。ここはリオでのオリンピック開催に合わせて建築・落成されました。夕方、再び質疑応答が行われました。

ブラジル滞在中、マハーラージは非常に多くの信者と家族に会いました。リオデジャネイロ・センターのヴァイス・プレジデントで同センターの中心人物であり、活動的かつ奥行きが深い82才の信者 Louis Antonio さんとその奥様など、たくさんの方と親しく交わることができ大変嬉しく思いました。

ブラジルはこれまでに、スワミー・バ ッ ヴ ェ ー ナ ン ダ ジ ー (Swami Bhavyanandaji。英国)、スワミー・リ タ ー ジ ャ ー ナ ン ダ ジ ー (Swami Ritajanandaji。フランス)、スワミー・パ レ シ ャ ー ナ ン ダ ジ ー (Swami Pareshanandaji。アルゼンチン)、スワミー・パ ラ ト ッ パ ラ ー ナ ン ダ ジ ー (Swami Paratparanandaji。アルゼンチン)、スワミー・バ ス カ ラ ー ナ ン ダ ジ ー (Swami Bhaskaranandaji。米国シアトル) が来訪し、当地の信者らに霊的成長のきっかけを与えてきました。同国には現在、サンパウロの他にリオデジャネイロにもセンターがあり、さらに信者が運営している拠点が2カ所あります。

カリフォルニア州サンフランシスコ、
バークレー

6月29日、マハーラージはAAのフライトでリオデジャネイロを発ち、約10時間後、マイアミに到着。既に日付が変わっていました。睡眠もとらないまま、入国審査と保安検査に2時間を費やした後、再びAAのフライトでサンフランシスコへ。5時間後の6月30日昼頃に、サンフランシスコ国際空港でスワミー・ヴェーダーナンダジー (Swami Vedanandaji) にお出迎えいただきました。ここから車で、ヴェーダーンタ・ソサエティ・オブ・ノーザン・カリフォルニア (Vedanta Society of Northern California。以下、「サンフランシスコ・センター」) のアーシュラマへ。ここの長スワミー・タットワマーヤーナンダジー (Swami Tattwamayananda) とスワミー・アパラナンダジー (Swami Aparanandaji) の歓迎を受けました。信者数人にも会い、昼食を取った後、やっと休息を取ることができました。

この日の午後、ヴェーダーナンダジーの案内で、最近改修工事の終わったヒンドゥ寺院オールド・テンプル (Old Temple) を見に行きました。オールド・テンプルは、1904年に購入された土地に、シュリー・ラーマクリシュナの直弟子スワミー・トリグナティターナンダジー (Swami Trigunatitanandaji)

が建立したものです。車でサンフランシスコ湾の海辺に立ち寄った後、センターに戻ると、ヴェーダーンタ・ソサエティ・バークレー (Vedanta Society Berkeley)。以下、「バークレー・センター」の長スワミー・プラサンナトマナーナンダジー (Swami Prasannatmanandaji) が、アメリカ人信者 Shayam さんの車で到着。夜、2人はサンフランシスコ湾を渡ってバークレー・センターに戻られました。

7月1日はサンフランシスコ・センターでのんびりと過ごしました。2日の午後、ラーマクリシュナ・ミッションのインド国内の学校の卒業生による会合が開かれました。主催者は、Deogharにある学校の卒業生 Dr. Shivaprasad Bhattacharya で、会合には Narendrapur、Deoghar、Vidya Mandir の卒業生 12人が出席し、ラーマクリシュナ・ミッションの学校の卒業生が米国においていっそう積極的な役割を果たすにはどうすればよいか、有意義な討議が行われました。マハーラージも意見を共有しました。7月3日はサンフランシスコ・センターのアーシュラマでのんびりと過ごし、何人かの信者にも会いました。

7月4日は米国の独立記念日で特別な祝賀行事が行われる日ですが、米国内のヴェーダーンタ・センターでは、この日にベルル・マトで亡くなられたスワミー・ヴィヴェーカーナンダを追

悼するのが伝統になっています。式典に参加するため、ヴェーダーンタ・ソサエティ・オブ・サクラメント (Vedanta Society of Sacramento) の長スワミー・プラパンナーナンダジー (Swami Prapannanandaji) と、サンフランシスコ湾の向こう側にあるサンフランシスコ・センターからヴェーダーナンダジーとアパーラーナンダジーも来られました。

プログラムは午前 10 時 15 分に開始。リグ・ヴェーダの聖句を詠唱した後、マハーラージが 50 分の誘導瞑想を行いました。午後のプログラムで、マハーラージは「ポジティブな生き方」をテーマに約 15 分間講話を行い、その後、他のスワミーも交えて質疑応答。各スワミーも講話を行いました。昼食のプラサード、賛歌朗唱、花の奉獻もありました。約 160 名が参加。行事の終了後、マハーラージは近くを散歩し、かなり遅い時間まで外が明るいことに気づきました。(米国では夏時間があり、この間は時計が 1 時間早められています。)

日本、福岡県福岡市

7月5日、プラパンナーナンダジーと Shyam さんがサンフランシスコ空港まで見送りに来てくださいました。ロサンゼルス国際空港 (LAX) に行く飛行機が遅れたため、別の AA のフライトを予

約し直しました。40 分後に出発するフライトでしたが、保安検査を素早く終えて搭乗口へ急ぎ、無事搭乗。ロサンゼルスまでの飛行時間は2時間でした。LAX で再びパスポートのチェックと保安検査を受け、成田空港に向かう JAL と AA のコードシェア便に搭乗。12 時間後、成田空港に 7 月 6 日に到着。ここから JAL のフライトに乗り継ぎ、福岡へ。夜 7 時頃、現地の空港に到着。

協会ショップのお手伝いのために現地入りしていた田辺美和子さんとシャンティ泉田さんが福岡空港に迎えに来てくださり、宿泊先のホテルオークラへ案内してくださいました。

7 月 7 日、マハーラージは朝食を終えた後、第 15 回日本ヨーガ療法学会研究総会に出席。これは同学会の年次開催会議で、「共同国際会議」として他の学会と共催しています。午前 8 時半、開会式の初めに、日本ヨーガ療法学会理事長で日本ヨーガ・ニケタン代表の木村慧心先生とヴェーダの平和の祈りを捧げました。木村先生は 5 月 28 日(日)、日本ヴェーダータ協会が東京・インド大使館ホールで開催したスワミー・ヴィヴェーカーナンダ第 154 回生誕記念祝賀会にてご講演いただきました。また、マハーラージと田辺美和子さんがステージに立ち、木村先生に協会の新刊書『輪廻転生とカルマの法則』をご披露いただきました。

会議終了後、マハーラージは、日本ヨ

ーガ療法学会がチノイ駐日インド大使に敬意を表して主催した夕食会に出席しました。



日本、神奈川県逗子市

7 月 9 日、マハーラージは逗子の協会本部に戻り、約 3 週間の旅行を終えました。

忘れられない物語

へびと聖者

ある場所にへびが住んでいた。これまでにその場所を通りかかった人は皆、たちまち噛まれて死んでいたもので、誰もそこに近づこうとはしなかった。

ある日、その場所を聖者が通り過ぎた。へびは聖者を噛んでやろうと後を追いかけた。しかし、へびが聖者に近づくと、凶暴な性質は失われ、聖者の優しさに圧倒された。

へビを見ると聖者は言った。「友よ、私を噛むつもりかね」へビは恥ずかしくなり返事をしなかった。この様子を見て聖者は続けた。「いいか、これから誰も傷つけてはならぬぞ」へビはうなずき、お辞儀をした。聖者は去り、へビは自分の穴に戻った。その時からへビは、誰かを噛もうとすることさえせず、罪のない純粋な人生を送り始めた。

数日すると、近所の人達は、へビは毒がなくなってもう危険ではなくなったのだと考え始め、へビをからかうようになった。へビは投げられ、しっぽを持って情け容赦なく引きずられた。このような災難がいつまでも続いた。

運良く、あの聖者が再びそばを通りかかった。改心したへビが痛めつけられてあざだらけになった姿を見て、聖者は大変可哀想に思い、何があったのかへビに尋ねた。へビは答えた。「聖者様、これは、あなた様の教えに従って私が誰も傷つけなくなったからなのです。でも、あの人たちは本当にひどい！」

聖者は微笑みながら言った。「友よ、私は、誰も噛んではいけないと言ったのだ。怖がらせてはいけない、とは言わなかったぞ。お前はいかなる生き物にも噛み付いてはならぬが、シューシューと音を立てて怖がらせ、そばに近寄らせないようにしなさい」

同じように、私たちも世間を生きていくのなら、周囲の人間に「この人は怖い人だから、失礼な態度をとってはいけない」と思わせるのです。誰も傷つけてはいけませんが、同時に、他人に傷つけられてもいけません。

(出典：F. Max Muller 『Ramakrishna; His Life and Sayings』 (1898))

今月の思想

信仰を持つ者に対して、説明は不要である。

信仰を持たない者に対して、説明は不可能である。

(トマス・アクィナス)

発行：日本ヴェーダーンタ協会

249-0001 神奈川県逗子市久木 4-18-1

Tel: 046-873-0428

Fax: 046-873-0592

Website: <http://www.vedanta.jp>

Email: info@vedanta.jp